

平城宮跡歴史公園スマートチャレンジシンポジウム

実施テーマ テーマ③

社会実験名 アプリケーションによる公園情報の受発信サービス

社会実験実施団体 凸版印刷株式会社

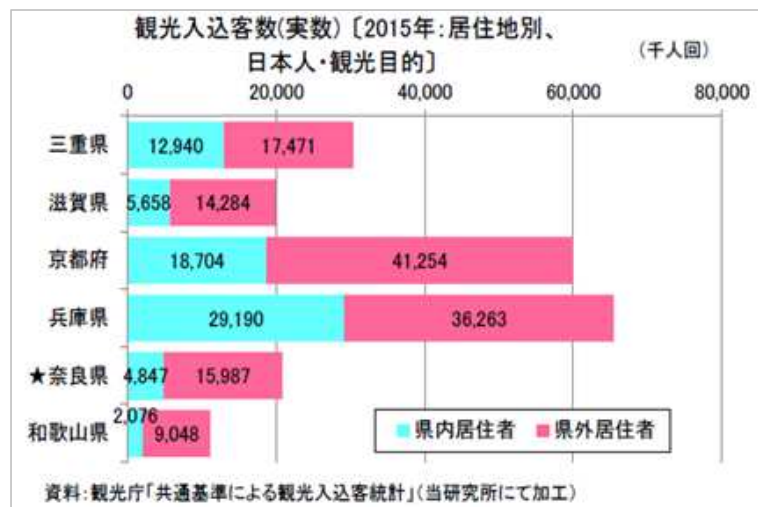
2020年1月11日
凸版印刷株式会社
西日本事業本部 関西事業部
関西ビジネスイノベーションセンター
兼房 博司

◆ 奈良県および国営平城宮跡歴史公園の現状把握と想定課題

関西地方においては、大阪、京都をはじめとする周辺自治体の主要観光地の宿泊施設は既にパンク寸前の状態である一方、奈良県には複数のホテルが開業予定であり、受け皿としての期待は高く、観光客を滞在させる拠点としての役割・意義が大きくなっている。一方、観光庁「共通基準による観光入込客統計」によると大きく2点の課題があることが分かる。

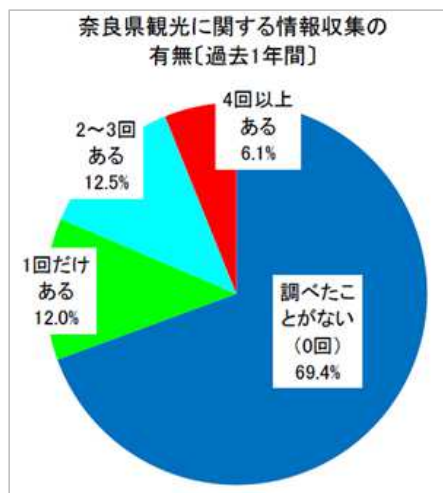
① 大阪、京都に比べて観光客数、観光消費額単価ともに低い

- ・奈良県の日本人・観光目的の観光入込客数（実数）は20,834千人回で、39都道府県中20位。兵庫県や京都府の3割程度の水準に留まる
- ・日帰り観光率が高い（80.2%）→ 観光消費額単価が低い（37位）



② 奈良のことを知らない人が多い

- ・奈良県観光自体に関する情報収集の割合が低い。一度も調べたことがないが69.4%



◆ 国営平城宮跡歴史公園が抱える課題の設定

① 広域での情報発信に向けた課題

② 公園への交通手段情報発信に関する課題

③ 園内での情報発信に関する課題

④ 公園来園者の把握に関する課題

新技術を活用した公園のスマート化に向けた社会実験
「パークスマートチャレンジ」への参画による課題解決の可能性実証

対象	施策	内容	対応する課題
新規来園者を増やす	(1) ポータルサイトの設置	<ul style="list-style-type: none">・複数存在する公園情報を集約するポータルサイトを設置、ユーザが見たい情報にアクセスしやすくする・同時に本社会実験に関する情報発信を実施する	①広域での情報発信
来園者の満足度向上により、リピート来園者を増やすとともに消費客単価を上げる	(1) デジタルサイネージの設置 (Wi-Fiアクセスポイント内蔵) (2) Wi-Fiアクセスポイントの設置	<ul style="list-style-type: none">・交通手段の (電車、バス) の時刻表をサイネージに表示する・サイネージによる公園情報の発信・Wi-Fiアクセスポイントによるスマートフォン基本情報の獲得	②公園への交通手段情報の発信 ③園内での情報発信 ④来園者の把握

◆ポータルサイト

SMART CHALLENGE

www · □PSC基本アンケート

平城宮跡歴史公園 スマートチャレンジ

－ 新技術を活用した公園のスマート化に向けた社会実験 －

[スマートチャレンジについて、アンケートにご協力ください！ \[アンケート回答はこちら\]](#)

直近のイベント



イベント情報

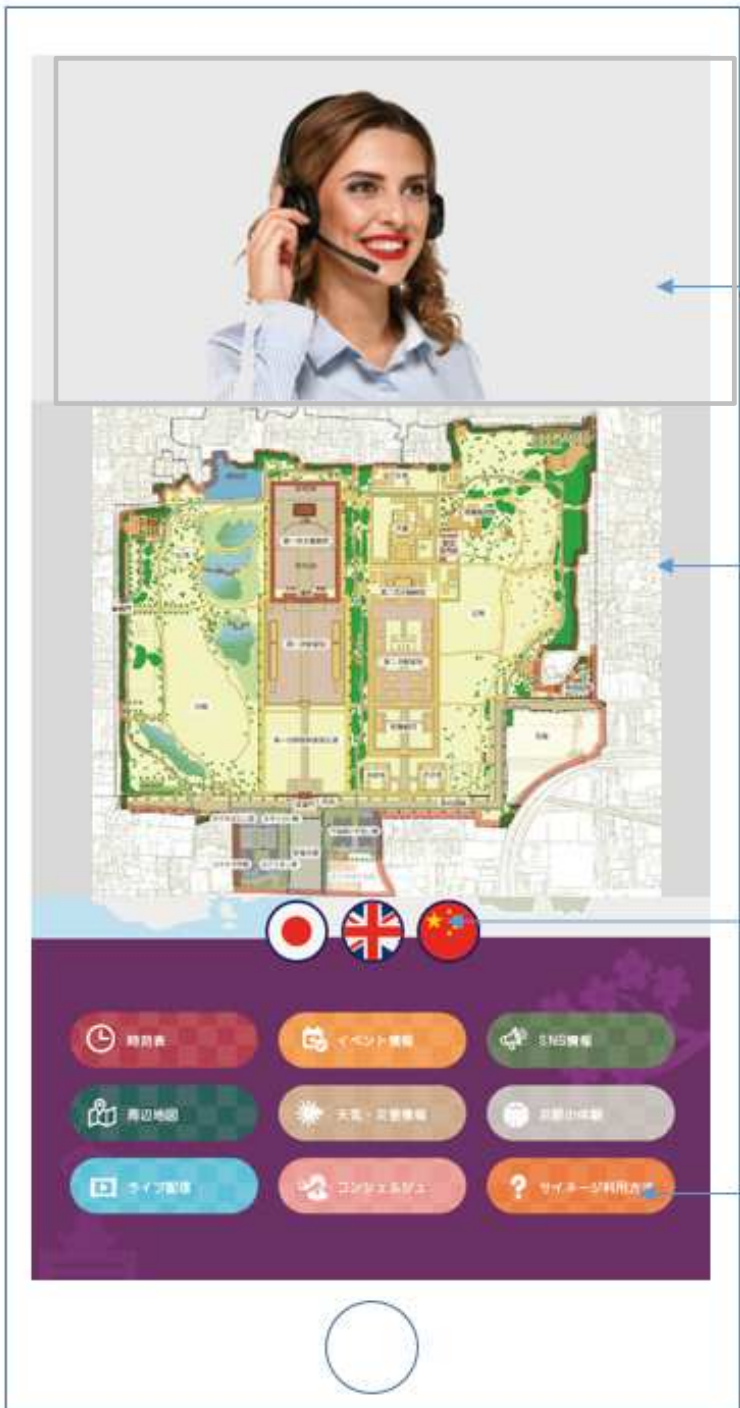
平城宮跡歴史公園は、奈良時代を今に感じる特別な空間です。年間を通じて、平城京の歴史や体験学習、奈良らしい地域のイベントを毎月実施しています。申込み制となっているものもありますので、イベント案内をよくご覧ください。

- [12月のイベント](#)

- [1月のイベント](#)

- [イベント一覧 \(外部サイト | facebook\)](#)

◆デジタルサイネージ



◆映像表示エリア

VR動画（簡易版）などの表示エリア
バーチャルコンシェルジュの表示エリアでもある

コンシェルジュは韓国語なし

◆コンテンツ表示エリア

サイネージ下部のボタンで選択した
コンテンツを表示するエリア

◆言語選択ボタン

日本語、英語、中国語、韓国語を選択

◆コンテンツ選択ボタン

コンテンツを選択するボタンのボタンのエリア

ハードウェア諸元

幅：約78cm×奥行：約20cm×高さ：約210cm
底部サイネージ固定板奥行：約80cm
従量：約110kg 49インチ液晶タッチパネルモニタ

項目	内容
動画放映	テーマ①モビリティサービス テーマ②VR動画簡易版 その他動画コンテンツ バーチャルコンシェルジュ
時刻表案内	バスの時刻表を表示
交通案内	鉄道の時刻表を表示
イベント情報	公園イベントを中心に 提供されたコンテンツを表示
モビリティサービス 利用方法	テーマ①モビリティサービスの 利用案内を表示
VR利用方法	テーマ②VRコンテンツの利 用案内を表示
バーチャルコン シェルジュ	サイネージ上部の映像表示 エリアに日・英・中に対応可 能なコンシェルジュコールセン ターにビデオ会議で接続
SNS	SNSから投稿された画像を 取得、表示する
サイネージ利用 方法	サイネージ自体の利用方法 ガイドを表示

◆ 機器設置場所



◆Wi-Fiアクセスポイント



◆データの活用の可能性

- Wi-Fiデバイスの位置情報を取得し、可視化することで人流の把握
- Wi-Fiデバイスをカウントし、人流情報、滞留情報を時間軸で可視化
- 属性情報の獲得により、特定の属性への個別情報発信が可能
これらのデータを活用し、次年度以降の社会実験計画へ反映させる